

公益財団法人佐藤陽国際奨学財団
私費留学奨学生 募集要項
(秋募集)

2014年10月期 私費留学奨学生 (奨学支援期間:2014年10月～2016年9月)
2015年 4月期 私費留学奨学生 (奨学支援期間:2015年 4月～2017年3月)

公益財団法人佐藤陽国際奨学財団は、次のような学生を支援します。

- ・ 学業に優れ、学業に専念する者
- ・ 日本文化をはじめ、異文化理解など国際交流に努める者
- ・ 地域交流、ボランティア活動など社会貢献に努める者
- ・ 学んだことを社会に役立てる意欲のある者

書類受付期間: 2014年8月25日(月)～2014年8月29日(金)必着

ただし、2014年10月及び2015年4月期入学の新1年生・新編入生に限り9月17日(水)まで受け付けます。

このたび公益財団法人佐藤陽国際奨学財団は、私費留学奨学生の「秋募集」を行います。募集対象者(応募資格者)は下記の通りです。 募集期間終了日までに合格証明書の入手できない2015年4月入学の新入生及び新編入生につきましては、2015年1月に「春募集」として別途募集を行います。

申込書の記載にあたり、在籍(進学)大学・学年等につきましては、2014年10月時点をご記入ください。2015年4月に進学が決定している学生(合格証明書必須)のみ、2015年4月時点の学年をご記入ください。

I. 応募資格 (2014年10月現在) (再応募も可能)

バングラデシュ、ブータン、ブルネイ、カンボジア、インド、インドネシア、ラオス、マレーシア、モルディブ、ミャンマー、ネパール、パキスタン、フィリピン、シンガポール、スリランカ、タイ、東ティモール、ベトナムから来日し、文部科学省所轄大学の学部又は大学院に在籍する当該国の国籍を有する私費留学生で、下記の条件を満たす者(ただし、日本国籍を有する者、短期大学生及び研究生を除く。)

- ① 国際理解と親善に関心を持ち、交流会に出席できる者
(交流会は年6回、主に東京で開催。交通費支給)
- ② 学習奨励金等の名目の如何にかかわらず他の奨学支援団体等から奨学金又はそれに類する金品を受給していない者(研究助成金などを受給している場合は、事前に事務局に問い合わせること。貸与奨学金については応募可。)
応募時に他の団体から奨学金又は奨学金に類する金品を受給している場合であっても、当財団の奨学金支給開始時(2014年10月又は2015年4月)に、他の団体からの支給が終了している場合には、応募可能です。
- ③ 在留資格「留学:college student」を有する者
- ④ 日本で就業している親がいない者
- ⑤ 「博士」の学位を取得していない者
- ⑥ 課程の修学期間が奨学金支給開始時期(2014年10月又は2015年4月)より1年以上ある者
- ⑦ 勉学・研究に支障のない日本語能力を有する者
- ⑧ 当財団の奨学生を終了後、SATOMとして交流活動に積極的に協力できる者
(SATOM(サトム)とは当財団の卒業生の総称です)

II. 奨学金

- | | | |
|--------|------|--------------------------------|
| 1. 支給額 | 学部学生 | 月額 120,000 円 |
| | 大学院生 | 月額 180,000 円 (この他に学会出席補助金制度あり) |

2. 支給期間

奨学金の支給開始時期は選考委員会が個別に決定します。

- ・ 2014年10月期生 2014年10月から2016年9月までの2年間
- ・ 2015年4月期生 2015年4月から2017年3月までの2年間

※ただし、採用時の課程修了までの標準修業年限とする。

2年以内に採用時在籍課程を卒業又は修了した場合(学部から修士、修士から博士へ進学など)は、その時点で支給終了となる。(例:学部4年生、修士2年生の場合、支給期間は1年間となる。)

※学部学生採用者について

- ・ 課程修了(卒業)前に2年間の奨学金支給期間が終了する当財団の奨学生から申請があった場合は、一次選考を免除する。

※博士後期課程採用者について

- ・ 課程修了までの期間。
- ・ 支給期間中、定期的に選考委員会による研究状況の確認を行い、標準修業年限内に博士号の取得が困難と判断された場合は、支給を打ち切ることがある。

3. 支給方法 支給は2ヶ月に一度、2ヶ月分を本人名義の口座に振り込む。

III. 募集人数

約 15名

IV. 書類受付期間

2014年8月25日(月)～2014年8月29日(金)必着

※ただし、2014年10月及び2015年4月期入学の新1年生・新編入生に限り9月17日(水)まで受け付けます。

V. 応募書類

○:必須

応募書類	用紙	学部	修士	博士	備考
奨学生申込書	別紙①	○	○	○	日本語 自筆
履歴書 1・2	別紙②	○	○	○	日本語 自筆
推薦状	別紙③	○	○	○	英語の場合は日本語訳を添付 ※指導教員により厳封のこと
評価書	別紙④	—	—	○	
エッセイ	別紙⑤	○	○	○	日本語 自筆 (所定用紙 A4 2枚)
学業成績表		○	○	○	資料 I 参照
研究実績	A4	—	○	○	日本語 ワープロ可 資料 II 参照
研究計画書	A4	—	○	○	日本語 ワープロ可 資料 II 参照 1枚
在学証明書		○	○	○	新入・新編入の場合は「合格証明書」もしくは「合格通知書」(コピー可)

- ※ 別紙②「履歴書 1」の「語学能力(日本語)」の欄は選考において重視する。
- ※ 別紙③「推薦状」は、指導教員記入のこと。ただし、指導教員が決まっていない学生に限り、日本語学校の先生や身元保証人、その学生をよく知っている人物が記入することを認める。
- ※ 代筆不可。ひらがな可。
- ※ 応募書類は返却しません。

VI. 応募方法

2014年10月に在籍する大学の留学生課を窓口として、「V. 応募書類」を書類受付期間内に当財団宛に郵送のこと。書類不備及び応募者個人からの直接郵送の場合は無効とする。

※新1年生・新編入生応募に関しては、在籍学校を窓口とすることも可とする。

【留学生課からの応募方法について】

下記の点に注意し、留学生課を窓口として応募書類を一括して財団事務局宛に提出ください。

1. 長形 3号封筒 (留学生課住所・担当者名を明記の上、82円切手貼付) …………… 2通

財団から留学生課へ受付番号等を一括送付する際に使用する。大学毎に2通同封すること。

2. 応募書類(厳封書類除く)の中に A4 サイズ以外の書類がある場合は A4 サイズにコピーしたものを、原本とともに同封すること。

両面コピー不可、ホチキス留め不可。

3. 厳封書類は、応募書類の一番上にクリップで添付すること。

書類間に厳封書類を挟まないこと。

【応募書類送付先】

〒153-0064

東京都目黒区下目黒 1-7-1

公益財団法人佐藤陽国際奨学財団 事務局

VII. 選考及び結果発表

一次選考 書面選考

- ・ 一次選考の結果は、10月6日(月)に留学生課宛に発送する。

二次選考 面接 10月25日(土)または10月26日(日)に東京にて実施予定。(交通費支給)

- ・ 面接は日本語で行う。
- ・ 二次選考の要領は一次選考結果通知後、対象者の留学生課宛に郵送する。
- ・ 二次選考の結果は、10月28日(火)に留学生課宛に発送する。

※選考の結果は、一次選考(10月6日発表)、二次選考(10月28日発表)ともに、発表日の午前10時より財団のホームページ(<http://www.sisf.or.jp>)に合格者の受付番号を掲載するが、郵送にて通知する「選考結果」で最終確認をすること。なお、応募者は受付番号を事前に留学生課に確認すること。

※合格した学生は、11月15日(土)の認証式の出席が必須となる。

VIII. 留意事項

奨学生が下記の各号のいずれかに該当する場合は、奨学金の支給を停止することがある。
(「奨学生規則」を当財団のホームページ(<http://www.sisf.or.jp>)で事前に確認してください)

- ① 交流会を無断で欠席した場合
- ② 「生活報告書」を期限内に提出しなかった場合
- ③ 日本を年間45日以上離れた場合(研究目的の場合は90日まで)
- ④ 病気その他の理由により修学または研究を継続できない場合
- ⑤ 指導教員から修学または研究の継続が不相当とされた場合
- ⑥ 学業成績が不良の場合
- ⑦ 休学・転学の場合(出産、育児による休学を除く)
- ⑧ 法律や社会秩序に反する行為を行った場合
- ⑨ 財団の名誉を傷つける行為をした場合

【個人情報の保護について】

応募書類に記載された内容は、個人情報として取り扱い奨学生選考の目的にのみ使用します。ただし下記の場合は、関係者に対して個人情報が開示されることがありますのでご了承ください。

- ① 選考のため、選考委員へ応募書類を開示する場合
- ② 重複支給の確認のため、大学担当者及び奨学団体に「合格者一覧」を提供する場合

【問い合わせ先】

〒153-0064

東京都目黒区下目黒 1-7-1

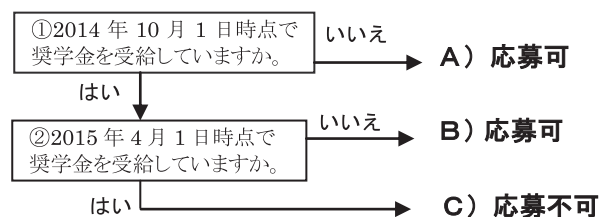
公益財団法人佐藤陽国際奨学財団 事務局

電話：03-5487-2775

E-MAIL: sisf@sato-global.com

奨学生申込書

A)B)C)当てはまるものに、○をしてください。



財団使用欄

受付日: _____

番号: _____

写真添付(カラー)

(3ヶ月以内に撮影したものを貼付のこと)

5.0×3.5cm、上半身、正面、脱帽、裏面に氏名を記入のこと

氏名	カタカナ			当財団奨学生経験	有・無
	パスポート記載の英文			性別	男・女
	母国語での表記			年齢(2014年10/1時点)	歳
生年月日	19	年	月	日	日本在留年数(延べ) 年
E-mail Address	@				
電話番号	()	-	国籍		
現住所	〒				最寄り駅
在籍(進学)大学又は大学院	<input type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 大学院 <input type="checkbox"/> 在籍 <input type="checkbox"/> 進学		<input type="checkbox"/> 学部 () 年 <input type="checkbox"/> 修士 <input type="checkbox"/> 博士		
	<input type="checkbox"/> 学部 <input type="checkbox"/> 研究科 <input type="checkbox"/> 学科 <input type="checkbox"/> 専攻		入学年月 年 月		
	指導教員名		卒業予定年月 年 月		
専攻分野分類	人文科学 ・ 社会科学 ・ 理工農学 ・ 医歯薬保健学 ・ 教育学 ・ 芸術学 ・ その他				
留学生担当部署(申請窓口が記入)	担当部署名(上記在籍大学以外からの申請は申請学校名を明記):		電話 (075) 753 - 2488		
	担当者名		FAX (075) 753 - 2562		
	住所 〒 606-8501 京都府京都市左京区吉田本町				
提出(添付)資料の有無	(学部学生) 日本留学試験に関する証明書		(大学院生) 研究実績		
	有 ・ 無		有 ・ 無		

申込日 2014年 月 日

【受付番号票】 (大学名、氏名を記入のこと)

申請大学名	氏名(カタカナ)
京 都 大 学	様

奨学生申込書を _____ 番で受け付けました。

受付年月日 _____

履歴書-1

氏名(カタカナ): _____

学歴	No.	期 間	学校名	課程	所在地 (国・都市名)	専攻科目	経歴	奨学金 受給
	1	年 月から 年 月まで	高校				卒業・中退	有/無
	2	年 月から 年 月まで		学・修・博・他			編入・入学 卒業・中退	有/無
	3	年 月から 年 月まで		学・修・博・他			編入・入学 卒業・中退	有/無
	4	年 月から 年 月まで		学・修・博・他			編入・入学 卒業・中退	有/無
	5	年 月から 年 月まで		学・修・博・他			編入・入学 卒業・中退	有/無
	6	年 月から 年 月まで		学・修・博・他			編入・入学 卒業・中退	有/無
	7	年 月から 年 月まで		学・修・博・他			編入・入学 卒業・中退	有/無
「中退」の場合は、理由を記入。								
職歴	期 間	勤務先	所在地 (国・都市名)	職務内容 (在籍状況)				
	年 月から 年 月まで			在籍・休職・退職				
	年 月から 年 月まで			在籍・休職・退職				
	年 月から 年 月まで			在籍・休職・退職				
資格・免許	受賞歴		特技					
語学力				過去における日本の在住履歴				
(日本語)		(英語)						
(その他語学力)								
国際交流、社会貢献活動の経験 (具体的に書くこと) ※必須								

【記入の注意点】

- ・「学歴」は高校から現在に至るまでを記入すること。書く欄が足りない場合は、別途(A4 サイズ)にて記入し、あわせて提出すること。
- ・「学歴」は空白期間がないように記入すること。日本語学校在籍、研究生の期間についても記入すること。

履歴書-2

氏名(カタカナ): _____

・現在・過去に当財団の奨学生であった家族・親戚がいたら、家庭状況の表右の欄に○をつけること。

・家族の他に日本に在留する親戚(おじ、おば、いとこなど)がいる場合は「家庭状況欄」に記入すること。

家庭状況	氏名	国籍	年齢	現住所(国・都市名)	現在の勤務先・学校名	当財団奨学生経験
	配偶者					
	子供					
	父					
	母					
	兄弟姉妹					

経済状況	収入	仕送り	有 ・ 無		年額	円	
		収入	受給中の奨学金	有 ・ 無	受給期間	受給金額	
			名称	(年 月 ~ 年 月)		月額	円
			名称	(年 月 ~ 年 月)		月額	円
		アルバイト、その他給与(内容:)				月額	円
	配偶者の収入	勤務先 () 仕事の内容 ()				月額	円
		受給中の奨学金	有 ・ 無	受給期間	受給金額		
		名称	(年 月 ~ 年 月)		月額	円	
		名称	(年 月 ~ 年 月)		月額	円	
	住居	賃貸住宅・寮・その他 ()		一人住まい・()人住まい		月額	円
授業料	<input type="checkbox"/> 全額免除	(年 月 ~ 年 月)	(免除額)		自己負担授業料		
	<input type="checkbox"/> 一部免除	(年 月 ~ 年 月)	(免除額)				
	<input type="checkbox"/> 全額自己負担			年額		円	

過去5年間に受給した奨学金および研究助成金の実績 (名称・受給期間・受給月額)

併願状況	申請先	結果発表月日
(奨学金に類するもの全て記入してください)		月 日 発表
		月 日 発表

記入例

奨学生申込書

A)B)C)当てはまるものに、○をしてください。

①2014年10月1日時点で
奨学金を受給していますか。

いいえ → **(A) 応募可**

はい ↓

②2015年4月1日時点で
奨学金を受給していますか。

いいえ → **B) 応募可**

はい → **C) 応募不可**

財団使用欄

受付日: _____

番号: _____

写真添付(カラー)

(3ヶ月以内に撮影したものを貼付のこと)

5.0×3.5cm、上半身、正面、脱帽、裏面に氏名を記入のこと

氏名	カタカナ	サトウ イチロウ		当財団奨学生経験	有・ (無)
	パスポート記載の英文	ICHIRO SATO		性別	(男) ・女
	母国語での表記	佐藤 一郎		年齢(2014年10/1時点)	29 歳
生年月日	1984年12月14日		日本在留年数(延べ)	8 年	
E-mail Address	1234 @ 5678.com				
電話番号	(03) 1234 - 5678			国籍	タイ
現住所	〒000-0000 東京都目黒区00-00-0			最寄り駅	JR山手 目黒 線駅
在籍(進学) 大学又は大学院	○○ □ 大学 <input checked="" type="checkbox"/> 大学院 □ 在籍 □ 進学		□ 学部 (1) 年		
	工学 □ 学部 <input checked="" type="checkbox"/> 研究科		<input checked="" type="checkbox"/> 修士		
	○○ □ 学科 <input checked="" type="checkbox"/> 専攻		□ 博士		
指導教員名			入学年月	2014 年 4 月	
			卒業予定年月	2016 年 3 月	
専攻分野分類	人文科学 ・ 社会科学 ・ (理工農学) ・ 医歯薬保健学 ・ 教育学 ・ 芸術学 ・ その他				
留学生 担当部署 (申請窓口が記入)	担当部署名(上記在籍大学以外からの申請は申請学校名を明記):			電話 (03) 5600 - 000X	
	担当者名			FAX (03) 5600 - 00X0	
	住所 〒				
提出(添付)資料の有無	(学部学生) 日本留学試験に関する証明書			(大学院生) 研究実績	
	有 ・ 無			(有) ・ 無	

申込日 2014年 月 日

【受付番号票】(大学名、氏名を記入のこと)

申請大学名	氏名(カタカナ)
○○ 大学	サトウ イチロウ 様

奨学生申込書を _____ 番で受けました。

受付年月日 _____

履歴書-1

記入例

氏名(カタカナ): サトウ イチロウ

学歴	No.	期 間	学校名	課程	所在地 (国・都市名)	専攻科目	経歴	奨学金 受給	
	1	2001年 4 月から 2004年 3 月まで	〇〇 高校		タイ・バンコク		卒業・中退	有/無	
	2	2004年 4 月から 2006年 3 月まで	〇▲ 大学	学・修・博・他	タイ・バンコク	工学	編入・入学 卒業・中退	有/無	
	3	2008年 4 月から 2010年 3 月まで	〇〇 日本語学校	学・修・博・他	日本・東京		編入・入学 卒業・中退	有/無	
	4	2010年 4 月から 2014年 3 月まで	〇〇 大学	学・修・博・他	日本・東京	工学	編入・入学 卒業・中退	有/無	
	5	2014年 4 月から 年 月まで	〇〇 大学大学院	学・修・博・他	日本・東京	工学	編入・入学 卒業・中退	有/無	
	6	年 月から 年 月まで		学・修・博・他			編入・入学 卒業・中退	有/無	
	7	年 月から 年 月まで		学・修・博・他			編入・入学 卒業・中退	有/無	
「中退」の場合は、理由を記入。 ○▲大学の中退理由は のためです。									
職歴	期 間	勤務先	所在地 (国・都市名)	職務内容 (在籍状況)					
	2006 年 4 月から 2008 年 1 月まで	〇〇会社	タイ・バンコク	自動車の整備	在籍・休職・退職				
	年 月から 年 月まで				在籍・休職・退職				
	年 月から 年 月まで				在籍・休職・退職				
資格・免許	普通自動車免許		受賞歴	〇〇大学弁論大会優勝 (2013 年 12 月)		特技	・ 読書 ・ バトミントン		
語学力				過去における日本の在住履歴					
(日本語) 日本語検定一級 (2010 年 7 月)		(英語) TOEIC 840点/990点 (2013 年 6 月)		・ 1994年～1996年の2年間、親の海外赴任のため静岡に暮らしていました。					
(その他語学力) なし									
国際交流、社会貢献活動の経験 (具体的に書くこと) ※必須									
<ul style="list-style-type: none"> ・ 〇〇国際交流団体の文化交流事業にボランティアとして協力 ・ △△NPOによる被災者支援活動にボランティアとして毎日参加 (2011.3～現在) ・ 地域のタイ語ボランティアとして登録 									

【記入の注意点】

- ・ 「学歴」は高校から現在に至るまでを記入すること。書く欄が足りない場合は、別途(A4 サイズ)にて記入し、あわせて提出すること。
- ・ 「学歴」は空白期間がないように記入すること。日本語学校在籍、研究生の期間についても記入すること。

履歴書-2

記入例

氏名(カタカナ): サトウ イチロウ

- ・現在・過去に当財団の奨学生であった家族・親戚がいたら、家庭状況の表右の欄に○をつけること。
- ・家族の他に日本に在留する親戚(おじ、おば、いとこなど)がいる場合は「家庭状況欄」に記入すること。

家庭状況	氏名	国籍	年齢	現住所(国・都市名)	現在の勤務先・学校名	当財団奨学生経験	
	配偶者	サトウ ミチコ	タイ	25	日本・東京	○△大学工学部4年	
	子供	サトウ アイ	タイ	1	日本・東京		
	父	サトウ ハジメ	タイ	60	タイ・バンコク	○○会社勤務	
	母	サトウ ハナコ	タイ	58	タイ・バンコク		
	兄弟姉妹 兄	サトウ ヒロシ	タイ	32	タイ・チェンマイ	○○大学講師	○
	伯父	サトウ タロウ	タイ	62	日本・大阪	△○会社勤務	

経済状況	収入	仕送り	有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無		年額	円
		受給中の奨学金	有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無		受給期間	受給金額
		名称	(年 月 ~ 年 月)		月額	円
		名称	(年 月 ~ 年 月)		月額	円
		アルバイト、その他給与(内容: 新聞配達)				月額
	配偶者の収入	勤務先 (スーパーサトウ)	仕事の内容 (レジ)		月額	50,000 円
		受給中の奨学金	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無		受給期間	受給金額
		名称 ○○奨学財団	(2013年 4 月 ~ 2014年 3 月)		月額	80,000 円
	名称	(年 月 ~ 年 月)		月額	円	
	住居	賃貸住宅 ・ <input checked="" type="radio"/> 寮 ・ その他 ()		一人住まい ・ (3)人住まい		月額
授業料	<input type="checkbox"/> 全額免除	(年 月 ~ 年 月)	(免除額)		自己負担授業料 年額 380,000 円	
	<input checked="" type="checkbox"/> 一部免除	(2014年 4 月 ~ 2014年 9 月)	(免除額 200,000)			
	<input type="checkbox"/> 全額自己負担					

過去5年間に受給した奨学金および研究助成金の実績 (名称・受給期間・受給月額)

○○奨学財団 2012.4~2013.3 (月額10万円)

併願状況 (奨学金に類するもの全て 記入してください)	申請先	結果発表月日
	○○奨学財団	

推薦状

記入者	学校名	所属
	職名	連絡先(TEL)
	氏名(署名) 印	記入日付 年 月 日

下記の学生を、公益財団法人佐藤陽国際奨学財団の奨学生に推薦いたします。

学生氏名 _____

1. 学業面

2. 人物面(長所、短所を含む)

3. この学生との関わりについて教えて下さい。なお、リサーチアシスタント等として採用している場合、採用した具体的な理由と契約終了時期、支給額を教えてください。

([例] 2013年4月より研究室で指導している学生)

※厳封にて提出願います
※日本語以外での記入の場合は、和訳を添付してください

評価書 (博士課程の学生のみ)

学生氏名 _____

これまで指導してこられた学生の中での相対評価として下記の数字を用いて空欄にご記入ください。

5:トップレベル	4:優れている	3:平均レベル	2:努力不足	1:劣っている
----------	---------	---------	--------	---------

①研究者としての適性／

探求心が強く、自発的に研究を進めると同時にリーダーシップを発揮する。

--

②研究者としての能力／

高度な実験技術や正確なデータ収集力、論理的な文章力、プレゼンテーション力がある。

--

③発想の独創性／

当該分野の研究を大きく前進させる着眼点や発想がある。

--

④研究者として特記すべき秀でた能力があればご記入ください。

⑤貴大学の博士号取得の要件と、当該学生の博士号取得の見込み時期及びその可能性をご記入ください。

※推薦状記入者と同じ方がご記入ください。
※厳封にて提出願います(ホチキス留め不要)

学業成績表の提出について

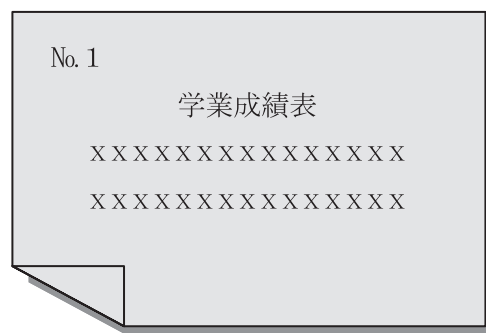
- ・ 下表に該当する学業成績表を提出すること
- ・ 日本で発行される学業成績表は直近のオリジナルを提出すること
- ・ 母国の学業成績表など取り寄せなければならない場合の成績表はコピー提出可。
ただし、母国の学業成績表については必ず「和訳」もしくは「英訳」を添付すること

2014年10月 在籍(進学)課程 (2015年4月進学する学生のみ、2015年 4月時の学年として読み替えて下さい。)		下記に該当する 学業成績表を全て提出	説明
学部生 ※	春入学 1年生 2年生	①学業成績表	高校最終学年から在籍大学の直近まで全ての学業成績表
	秋入学 1年生 2年生 3年生	②日本留学試験に関する 証明書(コピー可)	日本留学試験に関する証明書がない場合は、奨学生申込書(別紙①)の「提出資料の有無」の「日本留学試験に関する証明書」欄内の無に○をつけること
	春入学 3年生以上 秋入学 4年生	①学業成績表	在籍大学の直近まで全ての学業成績表
大学院生(修士・博士) ※		①学業成績表	学部1年生から直近まで全ての学業成績表

※高等専門学校もしくは専門学校からの編入生(編入経験のある大学院生含む)は、応募課程に係わらず高等専門学校もしくは専門学校の学業成績表も提出すること。

提出する学業成績表が、『別紙②履歴書 1:学歴欄』に記載されたどの期間に該当するかがわかるように、記入例を参考に学業成績表にNo.を記入して提出すること。

【記入例】『別紙②履歴書 1:学歴欄』に
該当するNo.を左上に記載 →



研究実績及び研究計画書の記載内容について

□研究実績

- ・ 日本語 ワープロ可 A4 サイズ
- ・ 下記 4 項目で該当するものを書いてください(何件書いても可)
 - ①公刊論文 (レフリー付)
論文題名／著者(全員)／ジャーナル名／出版社／
発表年／巻／ページ(最初と最後のページ)
 - ②公刊論文 (その他)
論文題名／著者(全員)／ジャーナル名／出版社／
発表年／巻／ページ(最初と最後のページ)
 - ③学術発表(国内)
論文題名／発表者(全員)／学会名／開催場所／
ポスター発表 or 口頭発表／発表年月
 - ④学術発表(海外)
論文題名／発表者(全員)／学会名／開催場所／
ポスター発表 or 口頭発表／発表年月
- ・ 修士新 1 年生で実績が無い場合は、学部課程の卒論のサマリーも可とします(A4 サイズ 1 枚にまとめること(必須)。それでも実績が無い場合は、奨学生申込書(別紙①)の「提出資料の有無」の「研究実績」欄内の無に○をつけること

□研究計画書

- 研究要旨を含むこと
- ・ A4 サイズ1枚にまとめること (必須)
- ・ 日本語 ワープロ可 図表使用可
- ・ 専攻、研究テーマについて、一般の人にも分かるようにやさしく書くこと